

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果分析から

4月17日に全国の小学6年生を対象に実施した「全国学力・学習状況調査」について、結果の分析がまとまりました。本調査は、国語科・算数科・理科の3教科の学力調査と同時に、学習への意識、学習方法、家庭での過ごし方や家庭学習の様子等を問う学習状況調査も実施されています。本校の児童の状況について、お伝えします。

1 学力調査の本校の結果と傾向

国語科・算数科・理科いずれの教科も全国平均を10ポイント以上、上回っております。3教科とも「知識・技能」の観点において、結果が特に良好であることが特徴的です。また、「選択式」「短答式」「記述式」など、すべて問題形式において無回答率も低く、最後まであきらめずに積極的に自分の考えを書き表すことができていました。

【国語科より】

全体的には、全国平均より11ポイント上回りました。すべての内容領域、観点においても全国平均を上回り、良い結果が見られます。

特に、「知識・技能」の内容は10ポイント上回り、言葉の特徴や使い方、言語文化に関する基礎的・基本的な事項の定着が見られました。「思考・判断・表現」の内容においても良好で、特に「C 読むこと」においては、時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を捉える問題においては、全国平均を大きく上回っています。一方で、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する問題や目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけて読み取ったりする問題においては、全国平均を上回っているものの、正答率が低く、無回答率も10%と課題も見られました。

【算数科より】

全体的には、全国平均より12ポイント上回りました。すべての内容領域、観点においても全国平均を上回り、良い結果が見られます。

一方で「思考・判断・表現」の観点の問題においては、課題が見られました。特に、「D データの活用」領域では、「目的に応じて適切なグラフを選択し数量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかをみる」問題、「A 数と計算」領域では、「 $\frac{3}{4} + \frac{2}{3}$ について、共通する単位分数と $\frac{3}{4}$ と $\frac{2}{3}$ が、共通する単位分数の幾つ文になるかを書いたり、数直線上に示された数を分数で書いたりする」問題、「C 変化と測定」領域では、「10%増量した内容量が、増量前の何倍かを選ぶ」問題などは、正答率は全国平均よりわずかに高いものの、正答率は低く、本校における課題が見られました。

【理科より】

全体的には、全国平均より11ポイント上回りました。すべての内容領域、観点においても全国平均を10ポイント以上、上回り、大変良い結果が見られます。

領域別にみると、特に「エネルギー」では14ポイント「生命」17ポイント以上全国平均を上回りました。全国的正答率が低かった問題としては、「エネルギー・粒子」領域の「身の回りの金属について、電気を通すもの、磁石に引き付けられるものの知識がついているかを問う問題」、「生命」領域の「種子の発芽の条件について、差異点や共通点を基に新たな問題を見出し、表現することができるかをみる」問題などについては、正答率は全国平均よりわずかに高いものの、無解答率も8%と課題が見られました。

【全体を通して共通する課題について】

どの教科においても共通しているのは、基礎的な知識をもとに、多くの情報から、必要な情報を取捨選択し課題を解決する力です。このような能力をつけていくために、日々の授業の中で、テキスト(文章やグラフなどの資料)を的確に読む読解力や思考判断するための言語能力を身に着けるために言語活動を充実していきたいと思えます。

2 学習状況調査(児童質問紙)の本校の結果と傾向

【肯定的回答(とても思う・そう思う)が多かった設問】

「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器をどの程度使用しましたか。」

➡ ほぼ毎日と回答(本校:84.6% 全国平均:59.2%)

「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器で文章を作成することができますか。」

➡ 肯定的回答(本校:86.6% 全国平均:71.8%)

「あなたは自分がインターネットを使って情報を収集することができますか。」

➡ 肯定的回答(本校:92.3% 全国平均:89.8%)

「あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する(図・表・グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)ことができますか。」

➡ 肯定的回答(本校:80.8% 全国平均:69.1%)

以上の結果でも見られるように、本校の児童は、ICT活用の技能が高い傾向であることがわかります。情報を収集するツールを活用する能力を、最大限に発揮し前述したような必要な情報を活用する能力につなげていきたいと思えます。

3 保護者の皆様へ

この調査は、子どもたちの学習状況を知り、一人一人の可能性を更に伸ばし、課題を解決していくためのものです。結果が学力の全てを表しているのではなく、順位を競うものでもありません。学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果をみると、ご家庭や地域の方々の児童への関わりや支援の成果が表れています。心から感謝申し上げます。引き続き、児童の健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をよろしくお願いいたします。